

10月9日 職業奉仕フォーラム

平成14年10月9日

河内長野東ロータリークラブ  
職業奉仕委員会  
委員長 細川 治

今月は職業奉仕月間です。

地区職業奉仕カウンセラーの成川さんは、職業奉仕には色々な取り組み方があるが、基盤は1つである。「ロータリアンは、職業を通じて社会に貢献しなければならない」。職業奉仕とは、一言で言えば、「自分の毎日やっていることを一生懸命やる、正しくやるんだということ」。だと仰られています。

本日の職業奉仕フォーラムの内容について、9月の28日に職業奉仕の委員会を開催し、会長、副会長、幹事さん。そして、委員会の皆様に参加頂いて、ご検討を頂きました。ご了解を頂きましたので、職業奉仕委員会の活動計画に挙げております「フォアウェイ・テストの真意」について進めさせていただきます。

「フォアウェイ・テスト」。皆様よくご存知の「四つのテスト」を、先ほどソングさんのご配慮で歌って頂きました。ソング委員會有難うございました。

「フォアウェイ・テストの真意」。につきましては昭和49年(1974年)に発行された「フォアウェイ・テストの日本語訳は正しいか。」大阪RCの塚本義隆さんの本を参考にさせていただきます。実は私は「四つのテスト」について、ずっと漠然とした疑問を持っていました。

真実かどうか？。皆に公平か？。・・・といわれても……。無理です。！

地区の勉強会で頂いた「四つのテスト」の翻訳文に対して異論を書いたこの本を読んで、私の疑問が解消、納得できたように思っています。

皆様にも今一度「四つのテスト」について、お考え頂きたいと思います。

本の前書きに、『このごろの日本は何処かが狂っているようです。近年の日本人は暴走を続け、その結果の脱線、混乱だと思えます。もし日本の諸企業のトップに立つ11万人のロータリアンが、「フォアウェイ・テスト」を理解し、本当に心に銘じて、その線に沿い実践して来たならば、近年の混乱(環境、資源、インフレ、デフレ、不道德など。)は起こらず、起きたとしても軽症でありえたと考えるのですが如何でしょうか。今ほど、「フォアウェイ・テスト」の意図について皆様に関心を持って欲しい時はないのです。』と書かれています。

皆様よくご存知の「四つのテスト」ですが、原作者はアメリカのハーバートテラーさんで、1932年に作られ、1954年にロータリークラブに採用されました。

日本には、昭和(1954)29年に日本各地のクラブから翻訳公募で「四つのテスト」ができました。応募件数は70件。選者はロータリー50周年記念委員会でした。翻訳されてから約50年間使われてきました。標語化され、スローガン化された言葉となって、日本語のままに解釈すると、翻訳の範囲が狭くなり理解し難い所があります。

原文の英語から、皆様なりに訳して頂きますと、意図がよく理解して頂けると思います。

先ず、資料 の原文を読んでみてください。

資料 には、「フォアウェイ・テスト」の原文と「四つのテスト」。その下にロータリー職業宣言を載せています。

川下会員は英語の勉強をされていますので、ザ、フォアウェイ・テストの項目を読んで頂けますか。

ロータリー職業宣言は、辻前職業奉仕委員長にお願い致します。

双方の意図は、とてもよく似ていると思います。

「フォアウェイ・テスト」の原文と同じ意味のことを日本語で詳しく言いますと職業宣言のように8項目も必要になります。

資料 の説明

資料

THE 4 - WAY TEST of the things we think, say or do.

四つのテスト 言動はこれに照らしてから。

- 1、Is it the TRUTH? 真実かどうか。
- 2、Is it FAIR to all concerned? 皆に公平か。
- 3、Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS? 好意と友情を深めるか。
- 4、Will it be BENEFICIAL to all concerned? 皆の為になるかどうか。

# ロータリー 職業 宣言

事業または専門職務に携わるロータリアンとして、  
私は以下の要請に応えんとするものである。

- 1) 職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘せよ。
- 2) 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道德規準に対し、名実ともに忠実であれ。
- 3) 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的基準を推進すべく全力を尽くせ。
- 4) 雇主、従業員、同僚、同業者、顧客、公衆、その他事業または専門職務上関係を持つ全ての人々に対し、ひとしく公正なるべし。
- 5) 社会に有用な全ての業務に対し、当然それに伴う名誉と敬意を表すべきことを知れ。
- 6) 自己の職業上の手腕を捧げて、青少年に機会を開き、他人からの、格別の要請にも応え、地域社会の生活の質を高めよ。
- 7) 広告に際し、また自己の事業または専門職務に関して、これを世に問うに当たっては、正直専一なるべし。
- 8) 事業または専門職務上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同僚ロータリアンに求めず、また与うることなかれ。

資料

塚本義隆氏（大阪 RC）の「フォアウェイ・テストの日本語訳は正しいか」から。

THE 4 - WAY TEST

四つのテスト（応募件数が一番多かった）他に、 四つの自省 四つの反省  
四つの自戒 四つの道 四つの試問 四つのめやす 四つの基準的な考え方

THE 4 - WAY TEST of the things we think, say or do.

四つのテスト 言動はこれに照らしてから。と訳されておりますが、お気づきのよう  
think の訳語が脱落しています。原作者のハーバートテラーさんは、心の中の考えこそ最も大切であると解説しております。口調がよいからとて、大切な心の中で考えることを省いては、原作者の意図を無視することになる。

1、Is it the TRUTH? 真実かどうか。

TRUTH を辞書で引きますと、 真、真理、事実、真実、誠実、実直、正直、適合、正確、実際、本当の、真実という哲学めいた響きがあるために、「真実を確かめよ」などは至難のことだという批判がある。

2、Is it FAIR to all concerned? 皆に公平か。

FAIR を辞書で引きますと、公平、公正、正当、合法的、品評会、博覧会  
fair play fair ball fair way fair weather fair water fair lady

FAIR は、皆に公平か。と訳されていますが、皆に公平にすることは不可能。

Fair play などのように、公正、正々堂々と言う意味のほうが当てはまります。

皆というのは対象が広すぎる。concerned 係りのある。関係のある。が脱落して訳されています。

FAIR を「公平」という翻訳に激しく反対して「公正」とすべきだと主張した人がおられました。昭和35年、京都クラブの方が東京のガバナー会へ改訳の定義をしたそうですが受け入れられなかった。

3、Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS? 好意と友情を深めるか。

GOODWILL 好意、親切、厚情

BETTER FRIENDSHIPS 友情、友好、親しみ、親善、

友情を深めるというのは解るが、好意を深めるというのはおかしい。

4、Will it be BENEFICIAL to all concerned? 皆の為になるかどうか。

皆というのは対象が広すぎる。concerned 係りのある。関係のある。が脱落して訳されています。

BENEFICIAL 有益な、有利な、有用な

BENEFIC 善行を行う。 Benefactor 恩恵を施す者

「四つのテスト」は50年近くも日本のロータリークラブで用いられ、なじまれているのに、いまさら異説を唱えるのか。

日本語で「四つのテスト」と言えば、四項目に対するテストと聞こえないでしょうか。このテストは4項目の内2項目できれば、50点もらえるのとは違います。

4項目全てに合格しなければパスしないのです。英語を見てもFOUR TESTSとは言わないで、THE 4 - WAY TEST といい、ハイフォンで4とWAYをつないでいます。四項目の質問ですが、全部を一括してのテストなのです。

筆者は最後に皆様のお知恵を拝借したい。現在に勝る立派な「四つのテスト」ができないであろうか。テストの実用がもっと盛んになるように。筆者の唯一の祈りであると結んでいます。

筆者はもっといい訳し方があれば教えて欲しいとされています。 皆さん。もっといい文章がありますでしょうか。

こうしたことを考え合わせますと、「四つのテスト」の日本語訳は、非常に簡潔で、よくできていると思われませんか。私は素晴らしい日本語訳であると思えるようになりました。

資料 の、ロータリー職業宣言では、同じ意味合いのことを現すのに8項目となっています。「四つのテスト」の原文の意図と、日本語に翻訳された言葉を幅広く、奥深く、ご理解頂ければ今後とも皆様にご活用頂けるものではないでしょうか。

細川：皆様のご意見をお聞きいたします。まず、幹事の山口さん。

山口幹事：え～。英語と日本語は正確に訳すと言うのは言語が違うので、ほんとに問題点はあると思います。が、真実かどうか。歌にもあるようにこれが頭に入っていますので、口調もよいので深く考えないで、このままでよいと思います。私はこれより変だと思いましたのは、昨年度のテーマの「人類が私たちの仕事」と言うのがありましたが、日本語になってないのと違うかいなと思っています。「人愛、人道が私たちの仕事」であれば理解できますが。変だなと思っています。

細川：有難うございます。次ぎに川下会員

川下会員：今、細川さんのお話をお聞きしていて感動したこと。心に残ったのですが、昭和49年、私が大学を卒業した年に大阪 RC の塚本さんが書いた本に、もし、ロータリアンが四つのテストを実践していたら混乱（環境、資源、インフレ、デフレ、不道德）は起こらなかった。約30年前に言われていることです。

30年前と現時点と比べて、社会情勢はその当時よりも悪化しているように思われます。そういうことから言いますと30年前も今もそんなに変わってないんだなあ。特に最近企業家日本ハムとか、雪印をみても廃れきっています。そういう状態に四つのテストが実際に実践できたら、日本の社会もよくなるんじゃないでしょうか。

そういうことから、Is it the TRUTH の 真実は、正直・誠実、そういった意味合いのほうがいいんじゃないかなと思います。

それと Is it FAIR to all concerned? 皆に公平か。は公正であるか。のほうが今の時代に当てはまるような印象を持っています。

細川：有難うございます。 辻 前職業奉仕委員長。お願い致します。

辻 前職業奉仕委員長：私の会社の隣にロータリアンのお店があります。この辺のお店とは違います。狭山や堺でもありません。アメリカのケンタッキー州です。

何の商売屋さんかと言いますと、カシワ屋さんです。鶏をフライにして売っています。ケンタッキーフライドチキンと言います。そこのお店の前の白い服を着たよう肥えたおっちゃん。いつも立っておられるんですが、その人の襟を見ますとロータリーのバッジが付いています。そここの創業者もう亡くなっはるんやと思いましたが、ロータリーに入ってたと自慢しているように受けとる人もいてるかもしれませんが、そうでは私はないと思います。うちの会社はロータリアンが創業者っですよと言う誇りと信頼を言っておられるんやと思います。ロータリアンて何や。他の人と違うところは四つのテストを身につけている人ですよ。と言うことです。

ある時に、四つのテストはクラブ内のロータリアンどうし重要視されていることかと思っていたのですが、そうじゃなくて、対外的なものなんです。個々の人たちは職業を通じ四つのテストを社会に対して実行しなさい。そうしますとロータリアンは他の人から尊敬されますよ。と言うことです。

例えば雪印の場合、真実かどうか。に照らし合わせれば一片に解ります。皆に公平か。は FAIR で展覧会と言う意味があり、ガラス張りという意味があります。誰に見て頂いても恥ずかしくないんですよと言う意味があります。好意と友情と言うのは、皆さんからあまり姑息な手段でやったらあきませんよと言う意味で、皆のためになるかどうか。は取引先のためになっても社会全体的にならないことはイカンよ。そういう感じに四つのテストをある時期に、ケンタッキーのバッジを見た時に対外的なものやなと感じました。ロータリーとは素晴らしいものやなと再度思いました。

細川：貴重なご意見を有難うございます。お隣の堀田会員。職業奉仕委員会として補足頂く事はないでしょうか。

堀田会員：補足することはございません。皆様言われていることが正しいと思います。四つのテストのテストがちょっと引っ掛かって来るんです。四つの信念と言うかそういうものだったら良いんじゃないかと思っております。真実かどうか。皆に公平か。辻さんも仰せられましたし、皆様のご意見と同じです。簡単で、どうも。

細川：有難うございました。それでは三軒会員。

三軒会員：はい。 皆さん大変よく考えられて、四つのテスト素晴らしいお考えで皆様の

仰るとおりです。成川年度かその後に、IMのテーマに取り上げられこの四つのテストについて話し合いがありました。その時一番良いと感じたのが新宮ロータリークラブのボランティアをやられている方で色々一生懸命考えられておられました。

四つのテストをどう解釈するかはそれぞれなんですけど、実はハーバートテラーさんは、アルミ製品の会社が赤字のときに、その建直し方を考えている時、サラサラと書いたのはクリスチャンだったからで、この四つのテストを会社の人に守って貰ったら、成績が良くなった。上手くいった。と言う話から広まり、ロータリアンの言葉として、職業奉仕の指針としてロータリーに採用された。

何か迷った時これを当てはめて考え、行動すれば役に立つ。どう解釈するかは今仰せられた皆様の考え方が、多数の考え方です。

concernedはその時に関係している人々で、適当な日本語訳がないので、皆の中に含めて訳したのだと思う。歌にもなっていますし、覚え易いしと言うことで、これはこれで良い。日本語訳が正しいかどうかは別にして、これを頭の中にたたっこんでおいて、何かあった場合は役に立たせば良い。

問題の企業も上の方はちゃんとやっていると思う。下の方が過ちをする。

その管理が難しい。何をしてもお金を儲ければよいという精神はよろしくない。ケンタッキーのおっちゃんがロータリアンだったとは知りませんでした。

細川：有難うございました。まだまだ、皆様にご意見をお聞きしたいのですが、時間が迫って参りました。この資料を持ち帰って皆様なりの四つのテストを考えてみてください。

ロータリーにおけるボランティアを勉強しようと言うことで、

ロータリーボランティアの登録をお願い致しました所、現在25名の方に頂いております。ロータリーボランティアについては、詳しい話をしてもらうべく地区職業奉仕委員会に依頼をしております。

プログラムが合えば、地区ロータリーボランティア担当の新宮ロータリークラブの見臺洋一さんに来て頂けると返事を頂いております。ロータリーボランティアは、社会奉仕とよく混同します。理事会と相談して慎重に勉強して行きたいと考えています。

## 中国上海の現状視察

西田和会員にお世話になり、11日から会員10名とご婦人3名 安全第一で行って参ります。今世界中で最も発展しているのが中国上海です。そんな上海を視察して、美味しい料理を頂いてかます。本日の上海は晴天で、昼間の温度は26度 夜もセーターは入らないそうです。

関空に9時30分までに、ご集合ください。

詳しい報告は、帰ってから皆様に感想をお聞きして、ご報告させていただきます。  
長時間有難うございました。

武藤会長に好評を頂きます。

武藤会長：細川さんどうも有難うございました。テストに対する異説から、テストの意味合いがよく解りました。テストの意味合いが幅の広いもので 奥の深さを勉強させて頂きました。これからも大切にして行きたいと思えます。